

# たつのまち の議会だより

No.65  
2017年5月1日

## ウォーターパーク再生、始動!

### 今号の記事

- ◎3月定例会
- ◎一般質問 12名
- ◎臨時議会
- ◎町民の声



「動き出す巨龍 出番を待つ矢彦神社一之柱と氏子の皆さん」

編集・辰野町議会広報委員会  
発行・辰野町議会

|             |                      |
|-------------|----------------------|
| <b>一般会計</b> | <b>83億9千万円</b>       |
| (前年度比)      | △1,000万円 △0.1%       |
| <b>特別会計</b> | <b>95億60万5千円</b>     |
| (前年度比)      | △2億3,774万6千円 △2.4%   |
| <b>総計</b>   | <b>178億9,060万5千円</b> |
| (前年度比)      | △2億4,774万6千円 △1.4%   |



町長による予算プレス発表

## 29年度一般会計予算審議について

3月定例会は、3月1日から16日まで開催され、町提出33件と、請願・陳情採択に伴う議員提出議案3件が審議され、いずれも可決されました。

今議会の最大の課題である新年度予算については「第五次総合計画・後期基本計画の2年目。人口減少対策をはじめとする重点プロジェクト4分野の成果を深化させ、将来人口規模を見据えたまちづくりを加速させる戦略的予算」であるとしています。

未来へつなぐまちづくり  
たつのプロジェクト深化・加速化予算

### 【歳入】

29年度一般会計当初予算に関する総務産業・福祉教育両常任委員会及び本会議での主な質疑は次のとおりです。

なお、上水道事業会計、町立辰野病院事業会計、その他特別会計については、各常任委員会報告を参照してください。また、広報たつの4月号も併せてご覧ください。

#### 財政調整基金から

5億5百万円を繰り入れ

ふるさと納税等の増額を見

**問** 29年度一般会計当初予算に込めつつ、普通地方交付税の減額等により不足する財源について、財政調整基金の取崩しと臨時財政対策債等の町債の発行によって対応します。

**問** ふるさと納税における使途指定の状況は。

**答** 「おまかせ」を含む4つの分野から指定していただき、それを尊重し活用している。

**問** いわゆる「有利な起債」について、国の交付税措置はきちんと確保されているか。

**答** メニューは減ってきているが、それぞれの時点での交付税措置率は確保されている。

### 【歳出】

**■議会費**  
前年当初予算比672千円、0.7%増です。

**■総務費**  
各区へよりあい事業とほたるのまちづくりで補助金

前年当初予算比3,967千円、0.4%増です。

**問** よりあい事業補助金について、全ての区が取り組むための課題は。

**答** 28年度は17区中12区へ交付した。全ての区で取り組めるよう区長会等で説明していきたい。情報交換などにより、実施していない区への働きかけを強めたい。

**問** 地方創生推進交付金事業の、ほたるのまち推進補助金の内容は。

**答** よりあい事業とは別に10万円を限度として、17区を対象にほたるの増殖等の事業を予定している。

**問** マイナンバーの交付が進んでいないようだが。

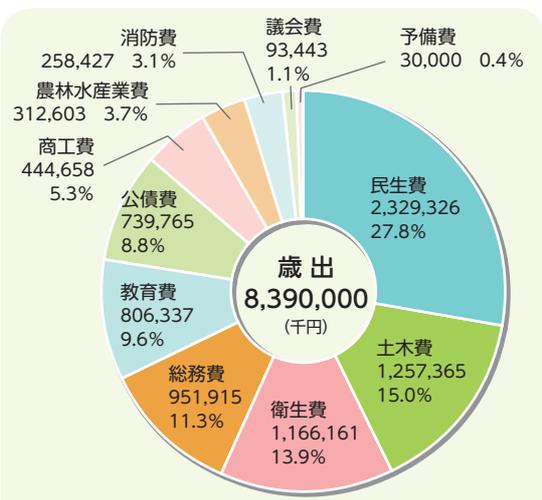
**答** 29年7月頃町内に2台の専用機械が設置される予定で、内1台は写真も撮れる機械である。

**問** 賦課徴収事務費の、土地評価事務取扱要領の作成の目的は。

**答** 近年評価に対する訴訟が増加し、きめ細かい基準が必要となっている。

**問** 職員研修の内容は。

**答** 人事評価、行政不服審査法改正、メンタルヘルス等に関して研修を行う。



平成29年度一般会計歳出目的別内訳

# 3月定例会 29年度予算を決定

## 未来へつなぐまちづくり

# たつのプロジェクト 深化・加速化予算

**問** 昨年の議会報告会で、デマンドタクシー制度の見直し等の意見があったが、今後の運営についての見直しの考えは。

**答** 県のアドバイザー制度を活用して検討していきたい。

### ■ 民生費 ファミリーサポートセンター 事業で協力を育成

前年当初予算比177、283千円、7.1%減です。

ファミリーサポートセンター事業では、4ヶ月児から小学6年生までを対象に家庭の支援を行います。社協が担当し10月から運用を開始します。その間協力員の教育と登録を行います。

**問** 協力員になるには。

**答** 町内在住、自宅で子どもを預かることができ、長時間の研修を受けることが可能な方に限られる。人員確保がかなり難しい。

**問** 子どもを預かってもらう費用は。

**答** 1時間当たり千円、その半額を町が補助する。

**補定** 24時間電話健康相談事業

は平成29年度で3年間の委託契約が終了。前年比100件増、516件の相談があり、活用頻度が高くなっています。

福祉タクシー・バス利用費扶助は対象を75歳から80歳に見直し、本年度も同額を計上しています。

保健福祉センターぬくもりの里のJA介護事業終結に向けて、後利用のために渡り廊下防火扉固定工事を計画しています。有効利用のための施策について町長に要望書を提出しました。

高齢者自立支援住宅「あさひが丘」は自立支援が目的のため該当者が少なく、空き部屋が多い状態。入居条件を含め見直しが必要と思われます。

**問** トレーニングセンターの利用状況は。

**答** 器具が足りない程、良好。健康維持、体力向上に寄与している。

**補定** ほたるの里世代間交流センター「茶の間」は社協へ管理委託。結婚相談をはじめ、

各種事業に活用されており、平成27年度6、745人が利用しています。

**問** 保育園児の食物アレルギー保持者数は。

**答** 253人いる。細心の注意を払って対応している。

**問** 保育園運営事務での常勤、非常勤職員の比率は。

**答** 常勤職員52人に対して、一般職非常勤職員が延べ90人。延長保育希望者が476人と多く、また未満児が増えている。延長保育士確保が難しい状態。要望に応えるべく対応していく。

**問** 保育園の耐震化工事は。

**答** 全園で完了した。

### ■ 衛生費 生ごみ処理機設置補助金 単価を引き上げ

前年当初予算比106、143千円、10%増。

民間主導で町内にリサイクルステーションを2基程度設置し、資源の有効活用につなげます。

**問** 生ごみ処理機設置補助金は。



岡谷市内のリサイクルステーション

**答** 総額は前年同額であるが、補助件数を減らし、一件当りの額を2万から2.5万円に増額。購入メリットを上げるとともに、ごみの減量に寄与する効果を見込んだ。

**補定** 町立辰野病院に補助金及び出資金として5億220万円を繰り出し、繰入率は1.1%で長野県の公立18病院中5番目に高くなっています。なお、伊那中央病院の繰入率は6.7%です。

**問** 聖地管理において無縁仏の撤去費が計上されているように、将来的に考えて集合墓地の検討が必要では。

〈次のページに続く〉

未来へつなぐまちづくり  
たつのプロジェクト 深化・加速化予算

**答** 今後検討していきたい。

**補足** 町保健対策推進事業として妊婦一般健診14回分の補助券を110人に配付、また幼児フック物塗布事業を親子で受けられるよう計画しています。各種健診が計画されており、受診率向上を図るなかで、早期発見による医療費削減が期待されます。

訪問看護ステーションは正規看護師3人及び非常勤職員3名体制で、施設看護から在宅看護への移行充実を図っており、成果を上げています。

**■農林水産業費**

**サル捕獲檻の設置補助・アメシロ噴霧器導入**

前年当初予算比10,845千円、3.4%減です。

**問** サル対策の檻はどこに設置するのか。

**答** 要望により、小野と川島に設置する予定。

**問** 個人向け貸出し用のアメシロヒトリ対策噴霧機について、農薬のドリフト（飛散）対策や管理の責任は。  
**答** 責任を徹底するよう対応

したい。

**問** 松くい虫による枯損木処理は、地域住民の協力を得て、効率的に対応してはどうか。

**答** 参考にしたい。

**問** 有害獣のうちシカの捕獲が減少しているが、絶対数が減少したのか。

**答** 数が減ったというより、シカが学習して捕獲しにくくなっていてと考えている。

**問** 地域おこし協力隊の報酬費が総務費や商工費にもあるが、全体では何人か。どのような役割を担うのか。

**答** 全体では4人になる。それぞれ任務は異なっている。農業振興費では、6次産業化に取り組んでもらう。

**■商工費**

**信州フューチャーセンターで起業相談やまちおこし**

前年当初予算比5,406千円、1.2%減です。

**問** 信州フューチャーセンターに関して、創業や企業診断は商工会が実施しており、指定管理が予定されている一般財団法人TUG BOAT

(タグボート)ではその業務はできないのではないかと。町が全体の業務をコーディネーターするべきでは。

**答** タグボートはインターンシップのノウハウを持つているので、商工会とそれぞれの役割を果たしてもらえよう行政が対応していきたい。

**問** 中央アルプスジオパーク構想に関して、三級の滝、蛇石、硯についてはどのように位置づけられるのか。

**答** 硯、鍋倉山は計画に入ると思いますが他は難しい面がある。

**■土木費**

**駅前整備に向けて新たな街なみ環境整備事業へ**

前年当初予算比78,959千円、6.7%増です。



整備が待たれる辰野駅前

**問** 駅前地区街並み環境整備事業を進めるに、土地区画整理事業は実施しなくてもよいのか。

**答** 実施しなくてよい。地域住民の要望にそった新たな計画を策定したい。

**問** 景観計画はどのような内容のものか。また上伊那での広域連携は。

**答** 上伊那では辰野町が最後。主要道路などで看板の高さや形、色彩などを規制し、上伊那として統一の取れた景観とするため、平成32年度までに策定する。

**問** 中央のいちよう並木を、伐採したあと歩道の整備はどうするのか。

**答** 並木通りについては、交付金事業の大型事業により直していきたい。その時に植栽全体についても見直したい。

**問** 定住促進奨励金では40歳以上でも中学生の子どもが1人いれば10万円助成となっているが、晩婚化の現在、見直す考えは。事業主や町外にもっとPRすることが大切。

**答** 企業の求人募集の際に知らせている。年齢見直しは今後の課題と考えている。

**問** 除雪機補助金について、複数配置は認めるのか。

**答** 区の実情に違いがあるが、補助の要件に合えば認める。

**■消防費**

前年当初予算比32,325千円、11.1%減です。消防団の活動について、消防署との連携強化についての要望が出されました。

**■教育費**

**辰野中学校普通・特別教室棟大規模改造**

前年当初予算比23,771千円、3%増です。

辰野中学校普通・特別教室棟大規模改造設計委託費を計上。現場確認したところ、建物の老朽化や危険箇所、雨漏り箇所が多く、早急な工事着工の必要性を認識しました。  
**補足** 成人式が当事者と町関係者のみで行われており、寂しい感があります。将来の辰野町を背負っていく若者の門出

を家族、町民で祝うことも必要ではないかとの意見が出ました。(28年度は該当者の出席は240人中170人)

図書館は開館35周年を迎えるなか、大きな館内修理工事がほぼ終了しました。開館日数は307日で県下ではトップレベルです。

**問** 新刊の購入及び蔵書数は。要望により審査し、年間約3千冊を購入。蔵書数は約7万冊。古いものは除籍し、

図書館祭りで希望者に譲渡しているため大幅な増加はない。たつの新聞、信濃毎日新聞は永久保存しており、貯蔵スペースは年々増加しているので、データ化を検討している。

**補定** 美術館は、開館40年を迎え、老朽化が進んでいます。積雪、雨水落下対策として北側大屋根改修工事を計画しています。また特別展事業として住民参加のペットの写真展を計画しています。

**問** 来館者数は。年間7千人弱。3月の雛祭り展では2週間の期間中

3,300人が訪れ盛況であった。

**補定** 町民会館は設備の改修工事がほぼ終了し、大幅な減額となっています。

スポーツ公園管理事業は前年並みの予算です。

**問** ウォーターパーク事業に合わせて園内の整備が必要。その予算は計上されているか。

**答** 整備する。支障木等の処理費に含め対応する。

**災害復旧費** 前年と同様予算額なしです。

**公債費** 前年当初予算比2,347千円、0.3%減です。

**予備費** 前年と同額です。

**平成28年度各会計補正予算について**

**荒神山ウォーターパーク再生へ動き出す**

○平成28年度一般会計予算  
・ウォーターパークリノベーション事業として、管理棟を「学ぶ・遊ぶ・集う」をテーマに、ほたるミュージアム、ボル

ダリングルーム、スタジオ、アクトイビティテラス等、子ども達や若者が集い活躍できる新たな拠点として再生。国の地方創生拠点整備交付金事業として2億7千百万円。(工事は29年度へ繰越し)

また、29年度予算土木費でウォータースライダーを撤去。



再生へ動き出すウォーターパーク

○その他、公共下水道特別会計、国民健康保険特別会計、

国民健康保険診療所特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計予算

条例制定・改正と主な内容  
○特別職の職員で常勤のもの等の給与に関する条例の一部改正

・町長等特別職常勤職員の給料の減額措置の継続  
○一般職の職員の特殊勤務手

当に関する条例の一部改正  
・税務手当の廃止

○使用料条例及び地域活性化センターの設置及び管理に関する条例の一部改正  
(総務産業常任委員会報告参照)

○町営駐車場条例の一部改正  
・宮木泉水の医師住宅北側駐車場を月極めで貸出すための規定の整備

○税条例及び税条例等の一部を改正する条例の一部改正  
・地方税法等の改正に伴う所要の改正(特例認定特定非営利活動法人への課税特例、消費税増税延期による軽自動車税の環境性能割適用の延期等)

○国民健康保険税条例の一部改正  
・所得税法等の改正に伴う所要の改正

○基金条例の一部改正  
・両小野国保病院組合の解散により町が事務を継承することに伴い、土地の借地料等として剰余金を町が確保するための規定の整備

その他の議案と主な内容  
○債権の放棄について

○公の施設の指定管理者の指定について  
(以上2件、総務産業常任委員会報告参照)

○町道路線の認定について  
・宮木泉水(旧辰野病院跡地の宅地造成地)の2路線

○上伊那地域公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び上伊那地域公平委員会共同設置規約の変更について

・両小野国保病院組合と伊北環境行政組合の解散に伴う規定の整備

**報告事項と主な内容**

○平成27年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について

・教育委員会の事務事業に関する外部評価を含む報告。

**請願・陳情について**  
・別表(P9)のとおり

**議員提出議案について**  
請願・陳情の採択に基づいて、議員発議の意見書3件を可決、国へ提出しました。

未来へつなぐまちづくり  
たつのプロジェクト深化・加速化予算

委員会審査から

# 総務産業 常任委員会

- 予算審査
- 現場調査
- 条例等の審査
- 請願・陳情審査



オリシバス線の現場調査

## 特別会計予算審査

### ■ 上水道事業会計

収益的収支は前年度比4.5%減。資本的収入が59%減で資  
本的支出は45%減。

**問** 有収率向上対策の成果は、  
(有収率とは、配水量に対する  
料金徴収可能水量の割合)

**答** 28年度漏水調査は59kmを  
500万円かけて実施し、22カ  
所の漏水を発見した。漏水に  
よる予測損失は3,500万円  
で対策工事に550万円かけて  
も効果がある。

### ■ 簡易水道特別会計

前年度比17%減。平成31年  
度企業会計への移行を目指し  
固定資産台帳整備委託料が計  
上されました。

### ■ 公共下水道特別会計

前年度比13%減。供用開始

以来25年が過ぎ、水処理セン  
ターの耐震化工事や長寿命化  
工事が行われます。施設計画  
見直し業務委託料、下水道管  
路台帳作成業務委託料が計上  
されています。また県道与地  
辰野線下水道布設工事費が計  
上されています。

**問** 固定資産台帳移行後、デー  
タ整理業務はいつまでかかるか。

**答** 28、29、30年度の3カ年  
で完了する。

**問** 下水道に流入する不明水  
は、年々増加傾向にあるが、  
どのように調査しているか。

**答** 管理点検業務で対応して  
いる。

### ■ 特定環境保全公共下水道

特別会計

前年度比65%増。大幅増額  
は、小野水処理センターの定  
置式脱水機設置工事費、長寿

命化工事費、耐震化工事費に  
よるものです。

### ■ 農業集落排水処理施設

特別会計

前年度比4.7%増。公営企業  
法適化のための固定資産調査  
業務委託料が盛り込まれてい  
ます。

**問** 沢底地区の公共下水道へ  
の統合はいつになるか。

**答** 平成32年4月1日が目標  
である。

**問** 統合後の処理施設の後利  
用はどのようなのか。

**答** 防災倉庫としての利用な  
どを考えている。

### ■ 地域情報告知システム

特別会計(ほたるねっと)

前年度比73%減。供用開始

6年目を迎え、システム賃借  
料(リース料)が大幅減額と  
なり、一般会計等からの繰入  
金が不要となりました。

以上特別会計6議案の委員  
会審査は、委員全員一致で可  
決すべきものと決しました。

## 条例等の審査

■ 使用料条例及び地域活性化  
センター設置及び管理に関す  
る条例の一部改正

平成28年3月末に閉館と  
なった観光情報センター「パ  
ルティス」を地域活性化セン  
ター「信州フューチャーセン  
ター」として新たに運営する  
ための条例です。委員会は現  
地に出向き関係課長同席のも

**問** 「コワーキングスペース」  
とはどういうところか。

**答** 小規模事業者が利用する  
仕事場で、事務所代わりにし  
たり、他の事業者との交流ス  
ペースとする。

**問** 使用料設定が高めだが。



コワーキングスペース

と施設を調査し、指定管理者  
タブボートの役員に参考人出  
席を求め説明を受けました。

## 委員会活動報告 (総務産業)

### 辰野町商工会との懇談会

2月14日、午後4時から商工会館に  
て商工会役員と懇談会が開かれました。  
冒頭、根橋委員長から「町勢要覧や  
経済センサスからみた上伊那の商工業  
の状況」の説明があり、辰野町は事業  
者数は減少しているが、工業の従業員  
一人当たり給与総額は上伊那1番であ  
る。商業の従業員一人当たり販売額は、  
上伊那2番であり健闘していると示しま  
した。

福島会長からは、「小規模企業振興  
に関する条例の制定」を辰野町に要望  
している、このことは県内市町村の商  
工会が一斉に行っているとの説明があ  
りました。次に商工会守山事務局長から、  
活動全般の説明と商工会(本会)が抱  
える課題について説明がありました。課  
題は①商工会館は老朽化で修繕または  
建替え、移転に迫られている、②廃業  
による会員の減少と役員人事問題。(役  
職員の会員増強活動で対応している)、  
③指導員等の資質向上などでした。  
この懇談会のあった日は大変寒い一日  
で、会議室のこの寒さに会館の老朽化  
問題を実感したところでした。

**答** 仕事に使用するというこ  
とで、他の施設使用料と区分  
して設定。

**問** 起業・創業相談に来た場  
合の使用料・相談料は。

**答** その場合は無料となる。

**■ 公の施設の指定管理者指定**

地域活性化センターをタグ  
ボートに指名する議案です。  
期間は3年で、指定管理料は  
年額340万円。

**問** 創業指導や企業の経営改  
善指導があるが、タグボート  
でそのような業務ができるか。

**答** 専門家を呼び依頼するこ  
とになる。また記帳指導など  
商工会と連携していく。

**問** この施設の常勤には、タグ  
ボートの役員があたるのか。

**答** 一般募集者だが役員の指  
導により円滑に業務ができる。

**■ 債権の放棄**

上水道事業会計において料  
金滞納分の内の徴収不能の  
513,167円について、  
欠損処理をするものです。

**問** 債権放棄一覧表の中に「本  
人死亡、競売中漏水分」とあ  
るが使用分は。

**答** 漏水分を含めた使用料金  
であり債権額は確定している。

以上条例等3議案は、委員  
全員一致で可決すべきものと  
決しました。

**● 予算に関する現場調査**

3月14日、次の4カ所の現  
場調査を実施しました。

- ① 社会資本整備交付金事業町  
道1552号線（オリンピック  
線）舗装補修工事
- ② 県営農村地域防災減災事業  
辰野菟東地区（樋口）
- ③ 荒神山温泉湯揚湯ポンプ点検  
入替工事（荒神山公園）
- ④ 社会資本整備交付金事業町  
道61号線工事（小横川）



町道 61 号線工事予定箇所

**● 請願・陳情委員会審査**

オスプレイの低空飛行訓練の  
中止を求める請願

紹介議員向山光氏の趣旨説  
明があり、また訓練空域の図

面等の資料配布とその説明を  
受け審議に入りました。

**賛成意見** ①日米地位協定を  
根拠に訓練を実施している以  
上中止は難しいが、住民の安  
心・安全を守る立場から賛成、

②沖縄の事故原因究明がされ  
ていない、③オスプレイは事  
故率が高い、④本請願に賛成  
と同時に自らの国防について  
も考える必要がある。

**反対意見** 日本を守るために  
はオスプレイの訓練は必要。  
採決の結果、賛成5、反対  
1名で採択すべきものと決し  
ました。

**「ニアロ等準備罪」いわゆる「共  
謀罪」を新設する組織犯罪処  
罰法改正案に反対する請願**

紹介議員向山光氏の趣旨説  
明の後、審議に入りました。

**賛成意見** ①戦前の治安維持  
法と同類の法律案である、②  
内心を処罰の対象としており  
今までの法体系と異なる、③  
国会審議における質疑が不十  
分である、④権力に有利な法  
律は、もっと慎重になるべき  
である。

採決の結果、全会一致で採  
択すべきものと決しました。

採決の結果、全会一致で採  
択すべきものと決しました。

「核なき世界」をめざす核兵器  
禁止条約への賛成と、核兵器  
廃絶の平和外交の推進を求め  
る陳情

**賛成意見** ①米国防  
権に追隨している日本政府の

動向は、核兵器廃絶路線から  
かけ離れている、②辰野町議  
会は50年前に「非核都市宣言」  
をしている。

採決の結果、全会一致で採  
択すべきものと決しました。

委員会審査から

**福祉教育  
常任委員会**

- 予算審査
- 現場調査
- 要望事項



現場視察の様子

**● 特別会計予算審査**

**■ 国民健康保険特別会計**

前年当初予算比4.8%増。歳  
入は平成27年度医療費に対す  
る前期高齢者交付金の大幅増  
額が見込めるため、基金の取  
り崩しを行なわない予算と  
なっていますが、高額ながん  
予防薬使用が予測され、一般  
被保険者療養給付費は年々増  
加の一途をたどっており、予  
断を許さない状況です。

療養給付費を抑えるために

は予防医療が大切であり、特  
定健診による早期発見、生活  
習慣病予備軍の把握と保健指  
導が欠かせません。保健福祉  
課の保健師との連携、国保独  
自の保健師を擁す体制も必要  
であるとの意見も出されました。

**■ 国民健康保険診療所特別会計**  
前年当初予算比0.6%増。第  
一診療所と川島診療所が対象。  
医師の高齢化と看護師の配置  
が厳しいなかで、運用してい  
ます。29年度は診察日を各々  
週一日とし、一般会計からの

療養給付費を抑えるために



町立辰野病院

繰り入れを70万円とします。患者数は減少の一途をたどっており、新規の患者も見込めず、今後については医師、看護師の頑張りのみが頼りです。

■後期高齢者医療特別会計

前年当初予算比2.3%増。長野県後期高齢者医療広域連合が運営主体で、町は保険料の徴収および資格の得喪手続き等の窓口業務を行っています。税率は長野県同であり、29年度までは変更がないとのことですが、現役世代が40%を負担しています。医療保険料歳入は特別徴収保険料が増え、1.8%増額となりますが、後期高齢者医療広域連合納付金として歳出されます。普通徴収

保険料（個人からの直接徴収保険料）率を上げる活動を展開することです。

■町立辰野病院事業会計

事業収益は前年当初予算比1.8%の減額。入院患者の増加は見込まれますが、医師数減による外来患者の減少が主な要因です。支出は2.6%の減額になっています。材料費、減価償却費の減、旧辰野病院の後処理が終了したことが主な要因です。電子カルテ化されて一年、個人データの蓄積ができ、健康管理に繋がることに期待します。

■医師確保の見通しは。

信大、人材バンク、諏訪日赤等、多方面のチャンネルでアプローチしているが、医師不足解消の見通しは非常に厳しい状態にある。

問 他会計負担金収入が約1千万円増加しているが、その要因は。

答 緊急医療確保等による病床数が2床から3床に変更になり、一般会計からの繰入金が増額したため。

問 薬品代が3千万円余減少

しているが、その要因は。

答 C型肝炎ウイルス抗剤が院外処方となったため。

問 経費における委託料の医事、清掃等が約2千万円増加しているが、その要因は。

答 医事業務を委託し、医事部門の強化に充てるため。

問 有形固定資産購入費の用途は。

答 回診用X線撮影装置、2Mモニター等の更新費用。今後も見込まれる。

問 院内安全確保のため防犯カメラを7カ所に設置しているが、駐車場への設置の考えは。

答 駐車場はすべて個々の責任で管理をお願いしたい。院内には今後も増やしたい。

問 透析の状況は。

答 現状で目いっぱいであり、要望があるが増やすことは難しい。

問 奨学金による看護師確保制度の運用状況は。

答 現在、3名が利用している。高齢での利用者もある。

問 一般会計からの繰入金は。収益的収入、資本的収入合わせて5億220万円となる。

■介護保険特別会計

前年当初予算比3%減。歳入では保険料、国庫支出金、支基金交付金等全体的に減収となっています。

問 歳出において趣旨普及費とは何か。また、40%減となっているが低減原因は。

答 需要費としての介護保険事業PR用パンフレット印刷製本費である、補てん用増刷のため前年より減額となっている。

問 保険給付費のサービス給付費が約1億円減少しているがその要因は。

答 福寿苑におけるステイ用10床とシヨートステイ用20床分が未稼働のため、減額している。

問 特養の入所状況は。

答 管理は広域で行っており介護度3以上が入所できる。待機者は45人だが月に2床くらい空きが出る。老健は余裕があるが、費用が安い「かたくりの里」への要望が多い。

今後稼働が予測される福寿苑の10床に対する辰野への割当では6割が見込める。ホーム事業は安定してきている状態。

問 認知サポータースキルアップ研修受講者数は。

答 サポーター265名、キャラバンメイト42名。

問 介護予防・生活支援総合事業委託料が増加しているが、その要因は。

答 総合事業「結」、「あゆみ」の事業拡大によるもの。以上本定例会、福祉教育常任委員会に付託された平成28年度5特別会計予算は、全て委員全員一致で可決すべきものと決しました。

●予算に関する現場調査

3月14日、次の4カ所の現場調査を実施しました。

- ①泉水医師住宅解体工事
②美術館2階屋根軒先改修工事



美術館屋根

- ③ 辰野中学校普通・特別教室棟大規模改造設計委託
  - ④ 中央保育園 園庭通路ゴムチップ舗装工事
- 以上の現場視察を行い、担当職員立会の下、説明を受け、計画の必要性を確認いたしました。

### 町長への要望事項

ぬくもりの里介護事業終了後の建物有効活用について

平成 29 年度末をもって終了する介護事業に対し、平成 29 年度予算において老人福祉センターとの通路を封鎖し、今後の建物活用方法を模索するとの考えですが、検討組織を明確にし、平成 30 年度早期に切り替え可能とする。

#### 答弁

ぬくもりの里介護事業終了に伴う、建物の有効活用については副町長を長とする市内の保健福祉医療連絡会をプロジェクトチームとして検討を始めている。

児童クラブの施設増強と支援員確保について

児童クラブの運営が 3 小学

校において実施されていますが、利用者が年々増加し、施設が手狭になり、長期休暇時、雨天時の収容が難しい状況になっていきます。また午後 7 時過ぎまでの対応にも迫られ、支援員の負荷が増しています。施設の増強と共に支援員確保を。

#### 答弁

施設の新築、移転、改修、リニューアルなど、効率の良い補助金、交付金等の情報を収集しながら研究、検討をします。

支援員については、子どもたちとの関わりを持ちたい方の応募を待っています。多くの方に関心を持っていただき、適任の方をご存知でしたらご紹介いただきたいと思います。



児童クラブの様子

## 請願・陳情の審議等の結果

| 件名   | 提出者   | 委員会審査    | 本会議 |    |      |
|--|---|----------|-----|----|------|
|  |   |          | 賛成  | 反対 | 議決結果 |
| 1<br>オスプレイの低空飛行訓練の中止を求める請願   | 上伊那地区憲法を守る会   | 採 択      | 8   | 5  | 採 択  |
| <反対討論：小澤>オスプレイが欠陥機とされているが、軍用機・民間機を含めての事故率をみても、オスプレイだけが高いとは言えない。長野県と市長会・町村会が国に出した飛行訓練に関する要請文においても、安全保障上の点も含め飛行中止は、求めている。        | <賛成討論：向山>オスプレイは構造上の特性から十分な安全性が確保されておらず、事故が相次ぎ、事故率も高い。国内の飛行訓練ルートには北アルプスを中心としたルートがあり、基地を往復する際には伊那谷を通過することもあり得るし、危険にさらされる。 |          |     |    |      |
| 2<br>「テロ等準備罪」、いわゆる「共謀罪」を新設する組織犯罪処罰法改正案に反対する請願  | 上伊那地区憲法を守る会   | 採 択      | 8   | 5  | 採 択  |
| <反対討論：小澤> 3 年後に東京五輪・パラリンピックを控えテロなどに対峙する「国際組織犯罪防止条約」の早期締結を希望する。それによって、犯罪情報や犯罪人の引き渡しは他国と円滑に進み、外国の方々が、テロの心配もせず安心して日本を訪問していただける。   | <賛成討論：岩田>市民団体が捜査当局の判断で組織的犯罪集団にされ、一般国民の内心が処罰される危険性や、計画や準備行為立証のために盗聴、密告、自白偏重の捜査になるおそれがある。既に重大犯罪には予備罪等整備されており、五輪開催に共謀罪は不要。 |          |     |    |      |
| 3<br>「核なき世界」をめざす核兵器禁止条約への賛成と、核兵器廃絶の平和外交の推進を求める陳情   | 「平和って何だ」伊那谷   | 採 択      | 8   | 5  | 採 択  |
| <反対討論：成瀬>核兵器禁止条約の交渉が始まるが、核拡散防止条約 N P T で核兵器保有が認められている米・英・仏・露は反対（中国は棄権）している。今回の交渉は、N P T の枠外で一気につくろうとする急進的な試みであり、これでは対立を深めるだけだ。 | <賛成討論：瀬戸>唯一の戦争被爆国として「どの国にも平等に核兵器は違法である」というルールをつくる「核兵器禁止条約」の実現に向けた積極的な働きかけや、「非核三原則」の法制化の実現で、未来の子ども達に核兵器のない世界を残す責務を果たせる。  |          |     |    |      |
| 4<br>湖周行政事務組合の「最終処分場板沢地区建設反対」の白紙撤回に関する意見書  | 辰野町区長会  | 文書配付（※2） | —   | —  | —    |

※ 1 賛否が分かれた採決（1、2、3）の結果は、賛成：岩田・根橋・向山・山寺・瀬戸・宇治・熊谷・垣内  
反対：中谷・堀内・篠平・小澤・成瀬

※ 2 上記 4. については、議会運営委員会で審議の結果、町議会として既に臨時会において同趣旨の意見書を全会一致で採択し、関係組合・市町長へ提出しているため、新たに審議することなく、区長会から提出された文書を各議員へ配布することとした。

一般質問

### 荒神山に オアシス型スマート インターチェンジを

町長 実施の方向となった時、地区協議会を設置する



小澤 睦美 議員

**問** 国が地域生活の充実・地域経済の活性化を目的として推進しているスマートインターチェンジに対する過去の取組状況は。  
**町長** 平成21年度から25年度にかけて、長野県・道路管理者等と庁内での幹事会で今後の進め方について検討してきた。その結果、今

は地域生活道路、補修などに力を注ぐ方向を取っている。止めたわけではない。  
**問** 荒神山ウオーターパークの施設整備に併せ、交流人口を受入れ、定住人口の増に繋げるためのオアシス型スマートインターチェンジを整備するための協議会を設置する考えは。

**課長** 平成25年度の検討時点では、ハイウェイオアシスの議論はなかった。将来実施の方向となった時に勉強会を経て、地区協議会を設置していく。



荒神山にスマートインターを

**問** 外国人観光客の誘致の一環である信州シルクロード広域観光周遊ルート開発会議の

コースにかやぶきの館、小野宿が入っているが受け入れ態勢は。  
**課長** かやぶきの館でのそば打ち等の体験を組んだ。大手旅行代理店による商品化も決まっている。  
**問** 横川ダム水力発電所計画の経過と今後の見通しは。  
**課長** 長野県は、地域に親しまれ、貢献する施設にしたいとし、平成31年度内に運転を開始する予定。町も、横川ダム研究会において県と連携しながら、地域の持っている観光資源を積極的に活用できるように検討する。

**川島小学校について**  
**問** 川島小学校を、小中学校あり方検討委員会の中で切り離して検討すべきではないか。  
**教育長** 検討委員会では、児童数の減少を一地域の問題としてではなく、町内全体の問題として議論している。

一般質問

### 6次産業化を 推進するうえでの課題は 町長 生産業者の減少、連携不足、開発の支援、資金支援



成瀬 恵津子 議員

**問** 6次産業とは何か。  
**課長** 1次・2次・3次を合わせて6次産業と呼ぶ。農林業者が第1次産業である農産物の生産だけでなく、第2次産業の加工、第3次産業の流通販売に関わることにより、第1次産業に新たな付加価値を付けること。  
**問** 推進戦略を策定する協議会メンバーは。  
**課長** 商工会長、JA上伊那理事、法人、食文化を展開している団体、生産者等29名。  
**問** 戦略期間は。  
**課長** 5年間。  
**問** 6次産業化を進め

ていく上での課題は。  
**課長** 戦略策定の中で見えてきた課題は5点。①生産者の減少、②6次産業に取り組む生産事業者の少なさ、③事業者と生産者の連携不足、④営農商品開発の支援、⑤資金支援の不足。  
**問** 課題を乗り越えるための町の考え。  
**課長** ①6次産業化のストーリー・価値感の共有、②対話の場を設け続ける、③長期的視野に立った取り組み、④リーダーとなる人材の確保。  
**問** 特産品のブランド化について。  
**課長** 皆さんからのアイデア、地元愛、皆に伝えていく、これがブランド化の目的。原料にこだわり、安全安心

な生産、美味しさ、食材・食文化に裏打ちされたものであればブランド化に大きな要素となる。  
**問** 学校等で6次産業食の安全安心の学習を。  
**教育長** 食の安全安心についての学習は大事。これからも学んでいく。  
**通学路の安全確保**  
**問** PTA連合会からの要望書の回答は。  
**課長** 道路関係では28件のうち3件実施。今後、グリーンベルトの実施。区画線の補修を行う。  
**問** 要望に対して何割の実施か。  
**課長** 年度末までには全部で7件の実施になる予定。  
**問** 来年度PTA連合会からの要望の進め方は。  
**課長** 各区と協議しながら進める。  
**提案** グリーンベルト、ゾーン30、防犯灯増設を。

一般質問

加島町政1期目の総括と2期目立候補の考えは

町長 第五次総合・後期基本計画を立案し17区よりあい会議で住民集約ができた  
残任期間を全うし、約束できないが6月議会にでもと思う



堀内 武男 議員

くりを加速し、未来に繋ぐまちづくりに向け、若者の知恵やアイデア、やる気を積極的に生かしていきたい。

問 首長として行政推進に当たって心掛けてきた事は何か。  
町長 誰もが心豊かで安心安全なまちづくりを目指してきた。早期に情報を提供し、将来のあるべき姿と、人口規模に合った施策に心掛け、職員の積極的な参画と、地域の声を反映した地域計画の施策遂行を図ってきた。  
問 来年度予算編成への思いと重点施策は。  
町長 第五次総合計画を骨子に、少子高齢化のなか、従来取り組んできた成果を深化させ、課題解決によるまちづ



つくば開成学園に蘇った旧福寿苑

空き家バンク制度

手続きの見直しを

問 空き家バンク制度の運用の狙いは。  
課長 空き家の有効活用を通して、住民と都市住民の交流拡大、定住促進による地域活性化に繋げる。

問 バンク登録件数並びに成約状況は。  
課長 登録総数は延べ40件で現在は10件。問い合わせは144件。成約状況は25件、内28年度は16件で、年々増えている。子育て世帯や生産年齢世帯の問い合わせが多い。  
問 手続きフローの見直しが必要だが。  
課長 地区の自治体加入が条件であり地区の規定整備に基づき踏み込んだ構築を行いたい。

肺炎球菌

ワクチン接種の拡大を

問 肺炎による老人の死亡率が第2位と高い状況であるが、ワクチン接種の状況と助成金増額の考えは。  
課長 接種率は37%と低い。向上のための施策が必要である。助成金増額は平成30年までは考えていない。

問 乳幼児における接種施策と副反応は。  
課長 予防接種法に基づき接種率も高く、副反応も非常に少ない。

一般質問

人口減少、少子高齢化が進むなか「コンパクト」な町づくりが必要では

町長 人口対策プロジェクトや学校のあり方検討委員会で検討が進んでいる



中谷 道文 議員

問 29年度の少子化施策的対策は。  
町長 少子高齢化の対応は喫緊の課題。各課が連携し、結婚から子育てまで切れ目のない支援体制を構築したい。  
問 川島小学校のあり方について、町長の考えは。  
町長 ずっと以前に、地域に話に出かけたが、



了解を得られなかった経緯もある。現在教育委員会でも検討している。町も応援できることは対応したい。  
問 平出保育園の移転新築についての考えや方向性は。  
教育長 現状のままです。即新築移転は無理と思う。但し、東部地区全体として見たとき、未満児の増加対応や幼小一貫、老人向け施設との複合方式等で早急に検討を進めたい。

問 消防団組織や団員確保対策の進捗状況は。  
課長 分団長会で検討を進めている。消防委

員会からも意見聴取を実施しており、近々諮問を行う。組織問題については、現在分団長会で検討も、大きな課題であり時間をかけた。メリット、デメリットを検討中。機能別消防団組織も検討中。  
問 防災力向上と景観造成を目的に災害発生予測地の上部や側面に樺、紅葉、桜等直根性で災害に強い樹種を植栽し「ほたると美しい里山」と、特産の松茸で辰野町を売り出してはどうか。  
町長 町内に多くの危険地帯があり、樹種変更で対応できれば心強い。また、林業と合わせ実践できれば大変良い事と思う。  
課長 ハザードマップを4月に更新し、配布の予定。

課長 植栽経費や育成管理費が必要。山林経営計画樹立で補助を受けられる。地域の協力体制が不可欠。

一般質問

# 一人当たり医療費適正化への取り組みは

町長 早期発見のため、検診受診率向上などの取り組みを強化したい

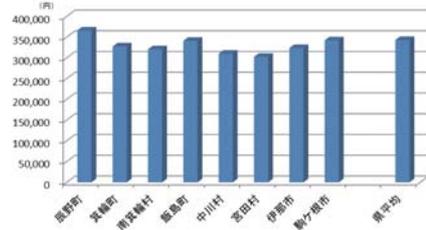


根橋 俊夫 議員

## 医療費の適正化対策

**問** 当町の一人当たり医療費は、国民健康保険、後期高齢者医療保険とともに上伊那医療圏ではトップであり、県下でも高い方となっている。今後財政運営が厳しさを増す中で、一人当たり医療費を引き下げることにより、財

政負担を軽減する取り組みが必要と考えるが具体策は。  
**課長** 上伊那医療圏でトップであることは事実であり、医療費適正化の取り組みは重要と考えている。早期発見のための健康診断受診率の向上、健康教室の開催、多重受診の抑制などに取り組んでいきたい。



国保における一人当たり医療費（27年度）

**問** 生活習慣病の早期発見のため、糖負荷血糖値検査を検診項目に追加する考えは。  
**課長** 困難である。  
**問** 国民健康保険制度が平成30年度から県に

移管されることに伴い、国保税の引き上げが懸念されるが、保険料軽減のため一般会計から支援する考えは。  
**課長** 現在のところ、繰り入れは困難である。  
**長時間労働の是正対策**  
**問** 教職員の長時間労働が常態化しているが、その実態はどうなっているか。また、是正に向けての対策は。  
**教育長** 月100時間を超えている事例があり問題と考えている。実態把握を行い、業務の割り振りを工夫し対応したい。

**マイナンバーへの対応**  
**問** 国は、特別徴収税額決定通知書にマイナンバーを記入するよう指示しているが、個人情報情報の漏えいのリスクが高まっていることから、マイナンバーの記入はしない措置はできないか。  
**課長** 他の市町村と足並みをそろえて、制度に従って対応したい。

一般質問

町長 長寿命化計画等で対応していく

# インフラ維持管理、財源は大丈夫か



熊谷 久司 議員

**問** 昨年11月に発表された「辰野町公共施設等総合管理計画」では、町が所有する建物やインフラ等の維持管理に必要な費用が、年間28億4千万円とある。これは直近の5年間の平均額の3倍に当たるという。さらに人口減少分を考慮すると4倍になる。町では対応策を4点定めているが具体性はあるか。

**課長** 国が定めた試算基準で算出しているため、巨額になった。実際には支出を抑えてやっていくしかない。長寿命化事業を推

進し供用年数を延長していく。また人口減少に沿って公共施設の削減も検討する必要がある。今後は施設ごとの個別管理計画を作成し国に提示していく。  
**問** 施設やインフラの維持管理に掛る負担を軽減するには、コンパクトな街づくりが必要。町はどう考えるか。  
**町長** 一般的には各施設を中央に集めることだが、施設がなくなる側の立場も考えなければならぬ。

**町民目線の職員意識を**  
**問** 町職員の町民への接し方次第で町が元気になると考える。職員意識教育はどうか。  
**課長** 「もう一度自分たちを見つめませんか」というテキストを

作成し接遇エチケット、対応の仕方の教材としている。新人職員には公務員の服務に関する地域採用職員研修を受けさせている。今後さらに職場の枠を超えた研修を考えたい。

## 辰野駅前の地区計画の進捗状況は

**問** 4年前に辰野駅前土地区画整理事業が廃止され、新たに地区計画が決定したが、その後の進捗状況は。  
**課長** 地区計画の中の地区整備計画を作成・決定しなければならぬ。28年度は地区関係者延べ114名に、その説明会を開いた。29年度4月に「辰野駅前住民まちづくり協議会」を設置する。構成メンバーは伊那建設事務所関係者や地区代表者、公募者など15名程になる。都市計画道路駅前3路線の見直しも含め協議していく。

一般質問

# 町職員の働き方改革の必要性は

町長 職員の仕事の仕方への指導等が重要



宇治 徳庚 議員

必要。

**問** 職員の年休取得は。

**課長** 平成28年(1~12月)は、平均付与日数37日、取得日数は5日で消化率は13・5%である。内訳は0日43人、1~5日55人、6日10日40人、11~15日17人、16~20日5人、21日1人である。

**問** 小中学校教員の多忙な実態と見解を。

**教育長** 勤務時間は基本的に町職員と同じであるが、「36協定」は対象外とされ、給与面で全教員に一律4%の調整給が付与されている。時間外の勤務については、法律で4項目(①生徒の実習②学校行事③教職員会議④非常災害時)に限定され、それを踏まえて学校長が命じている。学校現場で厳しいのは、保護者相談、生徒指導等により、あらかじめ決められない仕事が発生すること。しかし習慣化されている長時間勤務の実態を精査して次年度以降取り組みたい。

**問** 町職員の新規採用と総労働時間は。

**課長** 新規採用(行政職)は17、18、20年度がゼロ。19、21年1名、以降毎年6~9名採用。総残業時間は22年度4,604H、28年度8,312Hと倍増している。

**問** 他に次の答弁あり。

①障害者雇用率は平成28年度2・03%。(法定は2.3%)

②臨時職員等非常勤者数は平成28年度43%。

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱



役場庁舎内

一般質問

# 辰野町6次産業 食の革命とは

町長 食を中心に滞在型観光のストーリーをつくる



山寺 はる美 議員

何をもちて、

食の革命というのか

**町長** 住民みんなが、得意分野を活かして、食のブランド化をすること。

**問** 食の革命プロジェクト運営協議会発足の経過と目的は。

**課長** 昨年夏に、生産者や各業者などで、運営協議会を発足した。

食を中心とした、地域経済の活性化を目的としている。



館企画、町民企画の各講座を設けている。

たつのもども広報を子ども達のために

どう取り扱ったか

**教育長** 小学校ではふるさと活動への導入部分として活用したと聞いている。町外から赴任した先生達にも大きな反響があった。

**問** 28年度子ども広報は、先日全戸配布されたが、これは学校現場で子ども達が、郷土愛を育むための教材として活かして欲しいと思うが。

**教育長** 記載される情報が増えていけば、郷土学習の教材として活用していくことが期待される。

生涯学習の大切さと充実について

**問** 公民館講座の現状と課題について。

**課長** 受講者は多いが、男性2割、女性8割。課題は、新規加入者の割合が少なく、入会しにくいとの声があること、指導者となる人が少なく自主運営に移行できない事などが挙げられる。

**問** 多様な要望にどう答え、新規加入者をどう増やすか、具体策は。

**課長** 短期受講の公民



27・28年度子ども広報

一般質問

定住促進奨励金の現状と事業継続について問う

町長 県外2件、県内10件、町内29件の実績を残せた。次年度は1800万円予算計上した。期待している



岩田 清 議員

問 人口減少について昨年度は出生者数が百人を切ったとの情報がある。合計特殊出生率も含めてここ数年の値は。 課長 昨年度は98人、合計特殊出生率とは15才から49才の女性が一生涯の間、何人子どもを産んでいるかという値で、26年度は1.58、27年度1.39。

問 28年度人口減少率を見ると箕輪町0.15%・下諏訪町0.76%・飯島町0.93%・辰野町1.35%であり、同規模町村に比べて高い原因は。 課長 県の調査では辰野町の自然減0.99、社会減0.34であり、上伊那町村の中でも高い。少子高齢化による。 問 これは辰野危機とでも呼べる現象。人口減少対策については。 課長 3年後18,861人、13年後には16,803人という現実在即した人口ビジョンを策定した。厳しい実情がある。 問 継続の地方創生3施策については。 課長 インターンシップ事業について移住に繋がってはいないが、2年間で16名の学生が実践型を体験、地元企業活性の効果もあった。移住体験事業川島の短期滞在施設「おいでにゃんしよ」では、32人の



利用と1組2人の移住が決定した。長期滞在施設については現在改修中。定住促進奨励金は県内外から12件46名、町内では29件あった。 問 次期学習指導要領でアクティブラーニングの言葉が消えたが。 教育長 答申では使われていた「主体的・対話的で深い学びの実現」と同じ置き換えたもの。 問 歴史用語の変更に ついては違和感がある。 教育長 学術的研究が進んでより正確な表現になった。入試については配慮されるはずだ。 問 「ゆとり教育」の反動から授業時間が140時間増えるが。 教育長 週1時間増は子どもにとっても厳しい。弾力的運用を図る。

一般質問

あり方検討委への諮問、学校再編ありきでは

教育長 基準について提言を求めるもので、具体案を示して欲しいという訳ではない



垣内 彰 議員

教育について 問 どのような教育が辰野町に相応しいか。 教育長 心身ともに健康で社会を生き抜く力を身につける事。郷土辰野町を愛する心を育てる事。その二点だ。 問 教育長の考えは、「知識偏重でなく、コミュニケーション能力、答えを導き出す能力を育てるのが辰野らしい教育だ」ということだと思ふ。そうした教育の理念について検討委員全員が理解し共有しているか。 教育長 その部分は最も大切。その理念が無

いと文科省のいう適正規模が望ましい、となり、あり方検討委で討議する必要はなくなる。 意見 町民憲章を一言で言うと「多様性を担保する町にしよう」という事だと思ふ。多様性を認め合う辰野町の教育機関として、どういう規模、配置がいいのか、という観点から意見をまとめていただきたい。

ほたる祭りについて 問 今年もおもてなし宣言をするか。 課長 今年も行つう。



川島小学校授業視察風景

問 企画会議がポスター選考会の直前にあるのは不適切。前年の反省会が行われ、企画会議で次年度のコンセプト・テーマを決め、その内容を盛り込んだポスターデザイン仕様書、コンペ要綱が作られるべきでは。 課長 ポスターに企画会議の内容を盛り込むためには企画会議を秋口にする必要がある。実行委員会の中で検討したい。 意見 9月か10月頃に企画会議を。また、企画会議は役場ではなく、SFCのような空間で、若い知恵も取り入れて、統一感のあるイベントをプロデュースしていただきたい。

一般質問

就学援助金の支給単価引き上げを

町長 現段階では考えていない



瀬戸 純 議員

問 平成29年度要保護世帯に対して就学援助金の中の新入学児童生徒学用品費の補助単価が引き上げられることになった。要保護世帯へも補助金額の引き上げを。
教育長 要保護世帯に対して引き上げは現段階では考えていない。
問 新入学児童生徒学用品費の早期支給を行う自治体が増えてきた。国も援助が必要な時期に支給できるよう十分配慮を行うよう町へ通知が来ているはず。平成29年度の卒業式前の支給を。

教育長 所得確定が6月1日となっている。その日以前の支給はできないと考えている。
問 国はクラブ活動費・生徒会費・PTA会費も対象品目として認めている。支給品目の拡大を。
教育長 独自の支援もしている。個々の品目としては考えていない。
意見 子どもの貧困解消への一助として就学援助制度の存在はとても大きい。保護者への丁寧な説明や制度の周知徹底を行い、何よりも一番に子どものごことを考えた制度の運用を要望する。

福祉医療費窓口無料化の早期実現を

問 長野県福祉医療費給付事業検討会で、医

療費の窓口無料化について、今後は全市町村の意向も聞き、その結果を基に議論を進めると決まった。大きな子育て支援・貧困対策として福祉医療全体の窓口無料を要望する。子どもについての対象年齢の拡大等へのはたらかかけの考えは。
町長 一気ににはできないと思うが、いろいろな面の拡大をしてみたいと考えている。



医療費窓口無料化を求める署名

タブレット授業について
問 ブルーライトが目など身体に悪影響があると研究発表がされているようだが、対策を考えているか。
教育長 ディスプレイの明るさを下げる。

一般質問

諏訪湖周組合のごみ最終処分場計画

町長 皆さんと全く同感。同じ気持ちで受け止めている



向山 光 議員

問 処分場計画に区長会や議会は「住民の同意がない限り建設反対」としているが。
町長 全く同感。機会を捉えて伝えていく。
問 上伊那では地域完結の考えで八乙女に埋め立てることになっているが。
課長 20年間の埋立てを予定している。その

後についても上伊那全体で検討していく。
松くい虫被害と対策について

問 松くい虫の被害の状況と対策は。
課長 27年度に竜東で2本、28年度に北大出で4本確認された。

町長 枯れた松を見たから早くやる、様々な制約があっても「やっつけてから考える」位の気持ちで対応するよう指示している。
問 検査・伐倒等の責任と費用負担は。
課長 伐倒の最終判断は山林所有者にあるが、早期駆除・拡大防止は行政の責務として考えている。検査費用は県負担、伐採等は町負担で進める。



上伊那で広がる松くい虫被害 (H29.3)

問 マツタケ産地としても由々しき問題。樹種転換も含めて、早めの対策が重要。関係者の合意も必要となる。
課長 近い将来を見据えて、関係者を交えて検討する段階に来到していると思う。

子どもの育ちに関わる支援について

問 相対的貧困世帯は「隠れた貧困」と言われ16%、6世帯に1世帯あるとされている。どのように把握し、対策を講じていくか。
課長 保健師配置の子ども支援係を作った。関係者・機関と連携していく。民意に寄り添って対策を考えていく。

問 発達障害児等への通所施設の考えは。
教育長 発達段階での不安・障害に関しては、保育士配置、支援・相談体制等しっかりできていると思う。必要に応じて、園の改修も検討する。通所型施設の計画はない。

### 平成29年 第2回臨時会

平成29年1月25日第2回臨時議会が開催され、付議された3議案について、原案どおり可決しました。

- 1 平成28年度一般会計補正予算では、5,598万円の追加補正です。歳出は、ふるさと辰野寄付金謝礼に2,430万円、たつのパークホテル空調設備改修工事2,430万円、松枯損木処理委託料200万円等が主なものです。
- 2 荒神山テニスコート人工芝張替工事請負契約について一般競争入札の結果5,486万4千円で松田建設(株)が請負ました。



改修された荒神山テニスコート

- 3 県道川上唐木沢線上島地籍の192m延長に伴う辰野町道路線の認定を行いました。

### 平成29年 第1回臨時会

平成29年1月12日、議長要請による臨時議会が開催されました。諏訪市板沢地区への一般廃棄物最終処分場建設計画に対する平出区及び沢底区における建設計画撤回決議書・決意表明に鑑み、地元合意が得られない状態での建設計画の撤回と調査・測量に着手しないことを内容とする、議員発議による「諏訪市板沢地区への一般廃棄物最終処分場建設計画の撤回を求める意見書」を採択し、湖周行政事務組合長及び関係市町長宛意見書を提出しました。



湖周行政事務組合への意見書提出

### 町民の声

議会に  
期待します

平出

有賀 順一

私は、区議会議員2年目の任期を終えようとしている時に、湖周問題が起き、平出区・沢底区などで湖周組合や諏訪市の説明を受け、納得がいかない思いでおりました。

町議会でこの問題を取り上げていただけると聞き、議会傍聴に3回伺いました。議員さんの下調べ、質問の順序立てのよさに感心し、湖周組合、諏訪市側とお互いに理解し合えればと思います。が、難しい様です。この様に、何の問題もなければ、議会を傍聴することも無いと思いますが、なかなか議員さんの掘り下げた質問と町の処し方を聞くのは、下手な小説より面白いです。これからも、各議員さんの掘り下げ、勉強に期待し、ご活躍をお祈りします。

### 編集後記

広報委員長 垣内 彰

「議会だより」58号から現在の編集委員6人で担当させていただきましました。

見よい読み良い、親しみやすい広報を目指し、フロントの統一、活字ポイントの拡大(ちよつとだけでしたが)を行いました。写真、図表もなるべく多くするように努め、「見やすくなつたよ」という声もいただきました。校正では、事実誤認、誤記や誤字が無いように、6人が神経を尖らせた。発刊した7号の内容に大きなクレームが無かつたことは、委員の皆さんの注意力和集中力の賜物と感謝しています。

とは言え、1月の議会広報クリニックでの芳野政明氏の「読者が知りたいことは何かを常に意識せよ」との指摘は、目からウロコでした。「読者に伝えたい事」を「読みやすく、解りやすく」・・・と工夫していた私達の視点を根本から覆すものでした。

「町民のみなさんが知っていたがっている事」を強く意識した紙面となるよう、次期編集委員に伝えます。

「ご期待ください！2年間のご愛読心から感謝申し上げます。ありがとうございます。」



編集委員と担当職員